

2014B 長期利用課題の募集について

登録施設利用促進機関
公益財団法人高輝度光科学研究センター

2014B 期に募集する長期利用課題について、以下の要領でご応募ください。

[目次]

1. 長期利用課題について
2. 利用期間、対象ビームライン等
3. 申請方法
4. 応募締切 平成26年6月5日(木)
午前10:00 JST (提出完了時刻)
5. 申請受理通知
6. 応募課題の審査について
7. 審査結果の通知
8. 報告書について
9. 成果の公開について
10. 中間および事後評価について
11. 消耗品の実費負担
12. 問い合わせ先

1. 長期利用課題について

長期利用課題は、3年間のビームタイムを長期的に確保することにより、計画的に共用ビームラインを利用する利用研究課題で、SPring-8を長期的かつ計画的に利用することによって、SPring-8の特長を活かし、科学技術分野において傑出した成果を生み出す研究、新しい研究領域および研究手法の開拓となる研究、産業基盤技術を著しく向上させる研究などの一層の展開を図ることを目的としています。課題の審査にあたっては、一般の利用研究課題と共通の審査項目の他、長期の研究目標および研究計画が明確に定められていることや、前述の成果等が期待できること等が評価されます。採択された課題については、採択時に課題名、実験責任者、課題の概要などを公開するほか、実施1年半を経過した時点で中間評価を実施し、3年目の課題の継続・中止が決定されます。また、課題終了時には事後評価が実施されます。

2. 利用期間、対象ビームライン等

(1) 利用時期

2014B 期より6期(3期目終了後に中間評価、6期目終了後に事後評価を実施)

(2) 対象ビームライン

SPring-8の全共用ビームライン26本を対象とします。ご応募の前にビームライン・ステーションの整備状況をSPring-8ホームページの「ビームライン一覧」(<http://www.spring8.or.jp/ja/facilities/bl/list/>)でご確認ください。なお、1課題あたり配分できる上限ビームタイムは各期の各ビームラインの総シフト数(8時間/シフト)の16%までです。

(3) セベラルバンチ運転モード

2014B 期は、下記の運転モードを予定しています。運転モードの希望がある場合は、課題申請時に選択してください。また、第1希望と第2希望のフィリングでは、どの程度効率が異なるかを申請書「その他」欄に記述してください。

Aモード	203 bunches
Bモード	4 bunch train × 84
Cモード	11 bunch train × 29
Fモード*	1/14-filling + 12 bunches
Gモード*	4/58-filling + 53 bunches
Hモード	11/29-filling + 1 bunch

●運転モードの詳細は、SPring-8ホームページの「セベラルバンチ運転モード対応表」(http://www.spring8.or.jp/ja/users/operation_status/schedule/bunch_mode/)でご確認ください。

*上記のFおよびGモードはB期(2014B、2015B、…)のみ運転します。A期(2015A、2016A、…)はFおよびGモードの代わりにDモード(1/7-filling + 5 bunches)およびEモード(2/29-filling + 26 bunches)の運転を

予定しています。

3. 申請方法

Web サイトを利用した電子申請となりますが、長期利用課題申請のための設定が必要となりますので「12. 問い合わせ先」まで連絡してください。

(1) 課題申請

課題申請は Web サイトを利用した電子申請により行います。申請方法の詳細は、下記をご参照ください。また、下書きファイル (<http://user.spring8.or.jp/?p=1499>) をご用意しておりますので、ご利用ください。

◆ User Information Web サイト (UI サイト)

<http://user.spring8.or.jp/>

トップページ>ログイン>課題申請/利用計画書>新規作成

なお、課題申請時は、ログインユーザー名で実験責任者登録されるため、代理で課題申請書を作成する場合は、実験責任者のユーザーカード番号でログインし、作業する必要があります。その場合、実験責任者が責任を持ってアカウントやパスワードを管理してください。

(2) ユーザー登録 (未登録の方のみ)

課題申請時にユーザーカード番号とパスワードが必要となるため、申請前に UI サイト (<http://user.spring8.or.jp/>) にてユーザー登録を行ってください。

注) 申請者 (実験責任者) だけでなく、課題申請時に共同実験者として登録される方もユーザー登録が必要です。ユーザー登録情報は、採否通知の送付等の各種ご連絡に使用しますので、既登録者の方も登録内容をご確認の上、情報の更新をお願いいたします。

(3) 申請書作成上のお願ひ

詳しい入力方法については、UI サイトの「課題申請」 (<http://user.spring8.or.jp/?p=475>) をご参照ください。また申請書の記入要領については「SPring-8 利用研究課題申請書記入要領」 (http://www.spring8.or.jp/ja/users/proposals/call_for_inst_form_gene_09b) をご参照ください。

[申請シフトについて]

基本的に3シフト単位 (1シフト=8時間) で配分が行われますが、実際の配分シフトは申請シフトと異なる場合があります。

シフト数の算出に関するご質問は、SPring-8 ホームページに記載されているビームライン担当者までお問い合わせください。

[申請形式 (新規/継続) について]

必ず“新規”課題として申請してください。

[実験責任者について]

実験の実施全体に対して SPring-8 の現場で責任を持つことが出来る人が実験責任者となってください。

[本申請に関わるこれまでの成果について]

成果発表リストとその概要は必ずご記入ください。最近のものから順にスペースの範囲に書き込める内容をご記入ください。

[高圧ガス容器持込み実験について]

高圧ガス容器を持ち込む場合は、必ず「安全に対する記述、対策」>「安全に関する手続きが必要なもの」>「高圧ガス容器持込み実験」にチェックをし、「測定試料及びその他の物質」欄へ物質名・持込量等を正確にご記載ください。申請書に記載が無く、採択後新たに持込む場合は、高圧ガス保安法に関する行政手続きの過程において、持込みが制限される可能性がありますのでご注意ください。

4. 応募締切

平成26年6月5日 (木) 午前 10:00 JST
(提出完了時刻)

電子申請システムの動作確認はしておりますが、予期せぬ動作不良等の発生も考えられます。申請書の作成 (入力) は時間的余裕をもって行っていただきますようお願いいたします。

Web 入力に問題がある場合は「12. 問い合わせ先」へ連絡してください。応募締切時刻までに連絡を受けた場合のみ別途送信方法のご相談に応じます。

5. 申請受理通知

申請が完了すれば、受理通知と申請者控え用の

誓約事項のPDFファイルがメールで送られます。
メールが届かない場合は申請が受理されていない可能性がありますので、下記の通り確認してください。

- (1) 申請課題が UI サイト <http://user.spring8.or.jp/> (トップページ>ログイン>課題申請/利用計画書) の「提出済」に表示されていない場合
→受理されていません。もう一度申請課題の「提出」操作を行ってください。
- (2) 申請課題が UI サイト <http://user.spring8.or.jp/> (トップページ>ログイン>課題申請/利用計画書) の「提出済」に表示されている場合
→受理されています。ユーザー登録内容が正しいにもかかわらずメールが不着となっている場合は、「12. 問い合わせ先」にお問い合わせください。

6. 応募課題の審査について

申請書の審査は、書類審査と面接審査の2段階で行われます。審査の基準は一般課題の審査基準に加えて、

- (1) 長期の研究目標、研究計画が明確に定められていること
- (2) SPring-8を長期的、計画的に利用することによって
 - 1) 科学技術分野において傑出した成果が期待できること
 - 2) 新しい研究領域および研究手法の開拓が期待できること
 - 3) 産業基盤技術の著しい向上が期待できることを考慮して行われます。

書類審査を通過した課題については、SPring-8にて実施する面接審査を受けていただきます。**面接審査は平成26年7月1日(火)*を予定**しています(プレゼンテーション20分、質疑応答20分の時間配分を予定しています)。書類審査に合格された課題の申請者には面接時間を連絡いたしますので、あらかじめプレゼンテーションの用意をお願いします。

※応募件数により、面接審査予定日は、前後する可能性があります。

7. 審査結果の通知

書類審査結果通知 (面接時間通知)

平成26年6月中旬

採否通知

平成26年8月下旬

8. 報告書について

各期の利用研究課題終了後60日以内に、所定の利用課題実験報告書をJASRIに提出していただきます。JASRIでは、2014B期ユーザータイム終了後60日目から2週間後に当該報告書をWeb公開します。利用課題実験報告書の詳細につきましては、以下のUIサイトをご参照ください。

◆利用課題実験報告書/Experiment Summary Report (2011B期より)

<http://user.spring8.or.jp/?p=750>

9. 成果の公開について

[各期終了後]

3年以内に、課題番号が明記されている査読付き論文(査読付きプロシーディングスを含む)を发表し、JASRIに登録してください。論文発表に至らなかった場合は、「SPring-8/SACLA 利用研究成果集」で公表してください。

※長期利用課題は、利用期毎に1課題の扱いとなり、1課題に対し1論文を各期終了後3年以内に、原則登録していただくこととなりますが、複数課題分をまとめて1本の論文とすることが必要と判断される場合は、その限りではありません。またこの場合、課題番号が一番古い期の終了後3年以内に登録していただくこととなります。

[毎年]

SPring-8シンポジウムでのポスター発表(予定)

[随時]

発表された論文等の登録

[課題終了後]

- ・「SPring-8利用者情報」に課題報告を掲載
- ・SPring-8シンポジウムでのポスター発表(予定)

論文登録および成果の公開に関する詳細につきましては、以下のUIサイトからお願いします。

◆ UI サイト（論文発表等登録）

<http://user.spring8.or.jp/>
 トップページ>マイページにログイン>申請/報告
 >論文発表等登録

◆ 成果の公開に関する詳細

UI サイト（成果公表）
<http://user.spring8.or.jp/?p=748>

10. 中間および事後評価について

[中間評価]

3期目終了後、長期利用課題中間報告書を提出していただき、SPring-8 利用研究課題審査委員会が書類および面接による評価を非公開で行い、課題遂行に関する助言や、必要な場合課題の中止を勧告します。

[事後評価]

課題終了後、長期利用課題終了報告書を提出していただき、SPring-8 利用研究課題審査委員会が書類およびヒアリング[※]による評価を非公開で行います。

※課題終了前（6期目実施中）に同一研究テーマを継続して新たに申請した長期利用課題が採択された場合のみ、事後評価のヒアリングは省略されることがあります。

11. 消耗品の実費負担

利用実験において実験ハッチにて使用する消耗品の実費（定額分と従量分に分類）について、共用ビームタイムを利用する全ての利用者にご負担いただいています。

定額分：10,560 円[※]/1シフト 税込
 （利用者別に分割できない損耗品費相当）
 従量分：使用に応じて算定
 （液体ヘリウム、ヘリウムガスおよびストックルームで提供するパーツ類等）

※2014年4月からの消費税率引き上げに伴い、従来の金額（10,300円/シフト）から変更しました。

消耗品の実費負担についての詳細は、UI サイトの「消耗品実費負担制度」（<http://user.spring8.or.jp/?p=3559>）をご覧ください。

12. 問い合わせ先

〒679-5198 兵庫県佐用郡佐用町光都1-1-1
 公益財団法人
 高輝度光科学研究センター 利用推進部 共用推進課[※]
 「長期利用課題募集係」
 TEL：0791-58-0961 FAX：0791-58-0965
 e-mail：sp8jasri@spring8.or.jp

※平成26年度の組織改編に伴い、利用業務部利用業務課を「利用推進部共用推進課」に名称等変更しました。